

「大通西2丁目ビル外壁調査業務」に対する質問と回答について

1

(質問) 西側建物の竣工日、外壁タイルの種類、厚さ、接着工法等竣工図面の特記仕様書の情報を頂けますでしょうか。

(回答) 西側建物の建築年は1953年ですが、その後一部を1971年に増築しています。外壁は当時の竣工図面が残っていませんが、目視上、モルタルタイル張りと想定しています。

2

(質問) 東側建物の竣工日、外壁タイルの種類、厚さ、接着工法等竣工図面の特記仕様書の情報を頂けますでしょうか。5階～2階はタイル外壁でないと思われます。モルタル外壁等の施工方法情報頂けますでしょうか。

(回答) 東側建物の建築年は1965年ですが、その後一部を1971年及び1986年に増築しています。外壁は当時の竣工図面が残っていませんが、目視上、2～5階はパネルと想定、それ以外は不明です。

3

(質問) 赤外線装置法も一部考えております。気象条件を考えれば温度差が明確に出る10月中がより良いと思います。契約後、速やかに建物調査に入れるでしょうか。

(回答) 大通西2丁目ビルで他の業務案件等と調整しなければならない事項は現時点ではありませんので、10月中に調査を始めることは可能と想定しています。

4

(質問) ブランコ調査の安全対策につきまして、建物外壁面と敷地境界線がほぼ同じと思われます。ガードマンとコーンでブランコ調査の部分を最小限に囲い、通行人に真下を通らないようにいたします。南側歩道、西側歩道、東側市役所通路歩道でこのほか特に注意事項がございましたらご指示頂ければ幸いです。

(回答) 特記すべき事項はございません。

5

(質問) 調査期間の車両(調査資材の搬入、調査作業員、ガードマン、現地監督員)で2～3台の駐車場所を利用させて頂くことは可能でしょうか。

(回答) 敷地内に乗用車程度の規格であれば、数台程度駐車するスペースがあり、利用可能であると想定しておりますが、現時点では、当該業務の専用利用をお約束できるものではないです。なお、市役所本庁舎駐車場の利用については想定していません。

6

(質問) 入札時前に、現地の屋上吊り下げ工具検討の確認が可能でしょうか。

(回答) 10/5、10/6、10/7 で担当者の都合がつく範囲内であれば、担当者同行の元で建物に入館可能です。

7

(質問) 外観目視法により劣化及び損傷状況の調査とありますが、その他の手法で調査しても問題ないのでしょうか。

(回答) 外観目視法と同程度以上の調査方法があれば、あらかじめ発注者に確認の上でその他の手法に替えることは可能です。

8

(質問) 打診は屋上からゴンドラを設置して実施するとありますが、点検清掃用ゴンドラが設置されており、それを利用することができると考えてよろしいでしょうか。受託者負担にゴンドラが含まれているのでしょうか。

(回答) ゴンドラ用のフックがありますが、ゴンドラ本体を建物として用意はしていません。ゴンドラの賃料等も受託者負担です。

9

(質問) タイルあるいはモルタルの温度差が0.5℃以上とならない部分は打診法とありますが、業務の履行期間によっては、札幌市の場合、温度差が確保できないことが予想され、打診法に限られるのではありませんか。

(回答) 実施時期によっては打診法のみとなる可能性もあると想定されますが、必ずしも限定されるものではないと考えます。

1 1

(質問) 「環境マネジメントに関する研修」に係る資料は頂けるのでしょうか

(回答) 委託者からの資料配布は行いません。

1 2

(質問) 沿道の歩行者数が多いことが予想されますが、特段の安全対策及び安全計画の作成を行うこととしてよろしいでしょうか。

(回答) 特記で具体的に指示する安全対策はありませんが、現地状況を踏まえ適切な対応をお願いいたします。